



SG ホールディングス株式会社

2026 年 7 月 31 日

ESG 指数「FTSE Blossom Japan Index」、「FTSE4Good Index Series」、「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に継続選定

SG ホールディングス株式会社(本社:京都市南区、代表取締役会長:栗和田榮一)は、グローバルインデックスプロバイダーである FTSE Russell により開発され、ESG(環境・社会・ガバナンス)投資における代表的なインデックスである「FTSE Blossom Japan Index」※¹、「FTSE4Good Index Series」※²の構成銘柄に 6 年連続で、また「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」※³の構成銘柄に 5 年連続で選定されました。

FTSE Russell による ESG 評価は、環境課題への対応、労働環境の改善および安全衛生の推進に関する取り組みなど、多面的な観点から総合的にスコアで評価するものです。

当社グループでは、「SGH ビジョン 2030」において「お客さまおよび社会において、必要不可欠な存在(＝インフラ)であり続ける」というありたい姿を定義し、その実現および中長期的な企業価値向上を目指し、経営上の重点課題(マテリアリティ)を設定しています。当社グループのありたい姿からバックキャストし、マテリアリティを長期ビジョン実現に向けて解決すべき課題と位置づけており、その一環として ESG(環境・社会・ガバナンス)課題の解決に向けた取り組みも推進しています。

今後も当社グループは持続可能な社会の実現に向けてサステナビリティ経営を推進し、企業価値の向上を目指してまいります。



台車等を使用した集配

※1 FTSE Blossom Japan Index

FTSE Russell により開発され、ESG において日本企業の中で高い評価を得た企業から構成される指数。
日本の年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)が投資指標として採用している。

<https://www.lseg.com/en/ftse-russell/indices/blossom-japan>

※2 FTSE4Good Index Series

FTSE Russell により開発され、ESG において世界の大手企業の中で高い評価を得た企業から構成される指数。 <https://www.lseg.com/en/ftse-russell/indices/ftse4good>

※3 FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

FTSE Russell により 2022 年に新たに開発され、各セクター内で相対的に ESG 対応に優れた日本企業から構成される指数。また、温室効果ガス排出量の多い企業については、気候変動リスク・機会に対する経営姿勢も選定基準の一つとしている。日本の年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF) が投資指標として採用している。 <https://www.lseg.com/en/ftse-russell/indices/blossom-japan>

SG ホールディングスグループは、純粋持株会社 SG ホールディングス株式会社と、その傘下にある佐川急便株式会社をはじめとした事業会社で構成された総合物流企業グループです。

<報道関係お問い合わせ先>

SG ホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部
tel:03-5677-1587 fax:03-5677-1515 mail:sg_h_pr@sg-hldgs.co.jp